

VALUENEX (4422)

笹木 義次

株価指標

株価 (2022/10/26)	1,071.0 円
売買単位	100株
市場	東証グロース
時価総額	31 億円

事業内容

VALUENEX は、独自に開発したアルゴリズムによるビッグデータの俯瞰解析ツール VALUENEX Radar の提供と解析ツールを使ったコンサルティングを企業等に提供しています。

俯瞰解析ツールの特徴

VALUENEX が独自に開発したアルゴリズムは、大量の文書データ間の類似性を計算し、可視化するものです。解析結果は、1枚の俯瞰図として示されます。俯瞰図で示された距離、密度、分布、空白、から様々な洞察を得る事が可能となります。大量の文書データを独自のアルゴリズムで俯瞰解析する事で、複雑な現実を1枚の俯瞰図で表す事が出来ます。

これまで VALUENEX の俯瞰解析ツールは知財の分野で利用されてきました。ただし、それに留まらず、VALUENEX のアルゴリズムは予測分析にも適しています。そのため企業の様々な意思決定に活用する事が可能となっています。具体的には、新規事業分野の決定、M&A に際しての技術的なデューデリジェンス、技術戦略、マーケティングなどです。

VALUENEX ではより広い顧客企業層にも俯瞰解析ツールを使いこなしてもらうために改善や機能開発に取り組んでいます。分析結果をより簡単に利用できるレポート機能

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/7	473	-181	-166	-175	-62.1	0.0
2022/7	653	40	52	33	11.8	0.0
2023/7計	NA	NA	NA	NA	NA	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。
(注意) 2023年7月期の業績計画は非開示です。

<投資指標>

連結		
今期予想PER	NA	倍
PBR	4.14	倍
予想配当利回り	0.00	%

の強化や俯瞰図の類似度評価の精度向上のため自然減処理の改善などです。

企業を取り巻く経済環境や事業環境は不確実性を高めています。企業にとってはデータ分析に基づく最適な意思決定が必要とされています。こうした状況は、VALUENEX が提供している俯瞰解析ツールにとって潜在的な需要が高まる機会になると筆者は見ています。

サービス

VALUENEX では、ASP サービスとコンサルティングサービスという2つの形態でサービスを提供しています。

ASP サービスは、俯瞰解析ツールの利用ライセンスをクラウド経由で提供しています。ストック型の売上高となっています。顧客企業は俯瞰解析ツールを使って目的に応じた分析を行います。

コンサルティングサービスは、顧客企業の依頼で VALUENEX が行うサービスです。コンサルティングサービスは、調査コンサルティングとコーチングからなっています。調査コンサルティングは、解析ツールを使って顧客企業の課題解決や、顧客企業の要望に対して提案等を行っています。コーチングは、コンサルティングの一環として、顧客企業が自身で解析ツールを使いこなせるように VALUENEX のノウハウを提供しています。

2022年7月期業績実績

VALUENEXの2022年7月期の業績は、売上高が6億53百万円と前年比で38.0%の増収になりました。営業利益は40百万円と前期2021年7月期の1億81百万円の営業損失から収益化しました。

売上高の増収効果と費用の削減で、営業利益は収益化しました。売上高の増収は、主にコンサルティングサービスの売上高の増収が寄与しました。費用の削減は主に人件費の削減によります。

サービス別売上高

サービス別の売上高の状況です。コンサルティングサービスの売上高は3億44百万円となり前年比で63.6%の増収になりました。コンサルティングサービスを提供するコンサルタントの専門的な能力の向上など人員の戦力化によります。また、コロナ禍で減少していた顧客企業の需要の回復も寄与しました。参考までに前期2021年7月期のコンサルティングサービスの売上高は2億10百万円となり、前年比で36.4%の減収となりました。主にコロナ禍の影響により、顧客企業の需要が減少したからです。

ASPサービスの売上高は2億98百万円と前年比で15.6%の増収となりました。ASPサービスの売上高はストック型の売上高で安定的に成長しています。ASPサービスの売上高は、既存顧客からのクロスセルと新規顧客の獲得により増収となりました。

ASPサービスの売上高は2023年7月期も増収が見込めると筆者は推測しています。前受金が1億39百万円と前期差で37百万円増加しているからです。前受金には受注済みでまだ売上に計上されていないASPサービスが含まれていると推測しています。前受金の増加

は2023年7月期の売上高の増収に繋がると見えています。

2022年7月期業績改善要因

VALUENEXでは、営業員とコンサルタントがチームとして活動しています。それぞれの能力が向上したことから、チーム力も向上しました。こうしたチーム力の向上が業績回復に繋がりました。分析ツールを導入している既存顧客企業に対して、導入後の十分な支援を行えるカスタマーサポートの体制を構築することが出来ました。

チーム力の向上やカスタマーサポート充実によって、既存顧客のロイヤルカスタマー化が進捗しました。VALUENEXは、顧客戦略としてロイヤルカスタマー化戦略を掲げています。こうした顧客戦略により、2022年7月期の業績回復に繋がりました。

インサイトカフェ

VALUENEXのアメリカの子会社は、2021年9月にアメリカのシリコンバレーでインサイトカフェを開設しました。シリコンバレーの様々な企業や人材の交流の場を提供するものです。

開設からほぼ1年が経過しました。インサイトカフェは各種プロジェクト案件や新しい顧客企業との接点をもたらす機会を提供してくれる場として機能しています。

VALUENEXのアメリカでの活動の目的は、ネットワークの構築とブランディングの強化ですが、インサイトカフェは着実にその目的に見合った成果を上げています。

アメリカにおけるネットワークの構築なブランディングの強化は短期的な業績に結び付きませんが、VALUENEXの中期的な企業価値

の向上に繋がると見えています。

2023年7月期業績予測

筆者は VALUENEX の 2023 年 7 月期の業績は、売上高が 7 億 30 百万円と前年比で 11.8% の増収を、営業利益は 90 百万円と前年比で 2.3 倍の増益になると予測しています。

供給能力の向上で、需要を取り込む事が従来に比べて可能になっている事から、増収増益を見込んでいます。

事業環境が不透明感を増している下では、最適な意思決定を行うために VALUENEX が提供している俯瞰解析ツールに対する需要は増加する事を筆者としては期待しています。



金融商品取引法に基づく表示事項

- 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等
- 商号等： アイザワ証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号
- 加入協会： 日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関
： 特定非営利活動法人
証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式投資の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

- ・対面口座：約定代金に対し、最大1.265%を乗じた額
（ただし最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）
- ・インターネット口座「ブルートレード」
インターネット発注：最大1,650円、
コールセンター発注：約定代金が55万円以下の場合は1,650円、
約定代金が55万円超3,000万円以下の場合は3,300円。
コンサルネット発注：約定代金に対し、最大1.265%
（最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはアイザワ証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。